

疎密度アドホックセンサネットワークによる 建築物内情報収集システムに関する研究

関西学院大学大学院理工学研究科

情報科学専攻 巳波研究室 藤井 崇英

通常の広帯域・低遅延の通信ネットワークの存在を前提とできない大規模災害時において，建築物内に取り残された被災者を迅速に救助するためには，建築物内部の構造や被災状況を把握することが必要不可欠である．建築物内においては，救助者や自律移動ロボットなどの移動ノードから得ることができる限られた観測情報からノードの移動経路推定と建築物内部の構造推定を行うことが必要となる．本研究では，近距離無線通信を用いた蓄積搬送型通信技術（疎密度アドホックセンサネットワーク技術）を用いることにより，移動ノードの観測情報を統合・共有し，建築物内部の構造推定方法の提案とその有効性の評価を行う．